

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IASPEI 小委員会（第 23 期・第 6 回）議事録

日時： 平成 29 年 5 月 21 日（日）12：30～13：30

会場： 幕張メッセ国際会議場 301B

(〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1)

出席者：佐竹（委員長）、山岡、入倉、末広、横井、長尾、
モリ、吉岡、熊谷、田中（幹事）

議題 (1) 前回(第 23 期・第 5 回)議事録案の確認
(2) 2017 年 IAG-IASPEI 総会について
(3) ESG-WS について
(4)その他

（１）前回議事録案が承認された。

（２）佐竹委員長より IAG-IASPEI2017 の準備状況の報告がされた。

学術会議から助成を受ける場合の規定に則り、7 月 30 日 14:00-16:00 より市民講演会を開催する。講演者は測地学会、地震学会の両会長に依頼した。ビラは LOC が作成中、開会挨拶や司会は検討中である。

5/10 に早期登録を締め切ったところ、登録者数約 1000 名、発表者論文数 1192 件となった。ただし、登録に関して連絡の無い約 60 件の発表を取消した。

セッション時間割の説明があった。発表者がかぶるセッションはほんの二、三件とのこと。口頭発表は全部で 9 会場使用する。

開会式を初日午後に開催することとした。初日の午前中にセッションを入れて朝からの来場を期待する。

ポスター発表の総数は約 300 件。商工会議所に 2 会場を用意した。

ポスターボードは横長とし、ポスターの掲示は前半 2 日、後半 2 日で入れ替る。

IASPEI 関連のビジネスミーティングについて、委員長から IASPEI コミッションのミーティングに IASPEI 小委員会委員が出席して欲しいとの要望がなされた。後日、IASPEI コミッションの一覧表をまとめるので、担当者を決めること

にした。出席者にはリエゾンとしての役割が期待され、各ビジネスミーティングでの情報(IUGG2019でのセッションの動向、コミッションの役員の顔ぶれ、ミーティングでの報告事項など)を収集して報告する。また、入倉委員より、IUGG 役員ノミネーション委員会に関する情報収集、委員就任の重要性が説明された。

開会式は来賓の挨拶が中心となる。(安倍総理メッセージ、神戸市長、学術会議は副会長、測地学会・地震学会会長、IUGG president)

来賓挨拶の後、基調講演に移る。講演者は、日置さん(IAG)、Romanowicz さん(IASPEI)、橋本さん(IAG-IASPEI)

IASPEI メダルの表彰式が行われる。受賞者は Engdahl さん。

閉会式次第については、まだ検討中だが、ジョイントセッションのサマリー、スタッフへの謝辞、などが中心となろう。

決議などは IAG、IASPEI それぞれの Closing plenary で扱われると思われる。

巡検は、京大・加納さんがアレンジしている。野島断層などを中心としたコースである。開催期間中の 8/1(火)、8/3(木)に同じコースが 2 回用意されているが、応募はまだ 10 名ずつであり、さらに宣伝が必要である。

ソーシャルプログラムは以下のものが企画されている。市民広場でのアイスブレイカー、雨天の場合は屋内に会場が変更される。IAG ディナーは定員 100 名だが、すでにチケットは売切れた。IASPEI ディナーは動物王国で 19:00-22:00 に開催される。定員 300 名だが、まだ 100 名程度の申し込みしかない。

コンビーナーからのビジネスミーティングの要望があれば、LOC が対応する。

LOC ではアルバイトを募集している。延 150 人が必要とのことである。呼びかける対象は、日本から参加する学生、空いている日について、アンケートを行う予定である。残念ながら、神戸大は試験中なので対象から外す。

(3) ESG ワークショップの説明

川瀬委員からの資料を佐竹委員長が説明し、IASPEI で広報することの承認、協力依頼がなされ、承認された。

資料の誤字を見つけた。Friday は Saturday の誤りと思われる。

横井委員より強震動関連の会合で連絡して良いかとの質問があり、承認された。

（４）その他

本小委員会は、今回が今季最後の開催である可能性があるので、その場合には議事録の確認を委員長に一任する承認を出席者より取り付けた。

横井委員より、オーストラリア・メルボルンで開催された ASC での役員会の報告がなされた。委員長と事務局長は次回の IASPEI の時に決める。現事務局長より 2 名の方が推薦されている。

学術委員会の小委員会メンバーは 9 月に更新される。小委員会メンバーを続けるかについて、希望を募る。しばらくは学術会議の会員、連携会員の動向に注目する。

資料 1 前回（平成 28 年 10 月 5 日開催第 5 回）議事録

資料 2 IAG-IASPEI 資料

資料 3 ESG Workshop 資料

以上